



2025 年 9 月 12 日

各 位

会 社 名 関 東 電 化 工 業 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 淳一
(コード番号 4047 東証プライム市場)
問合せ先 広報・IR 室長 代蔵 政伸
(TEL. 03 - 4236 - 8804)

渋川工場火災事故についてのお知らせ（第 4 報）

2025 年 8 月 7 日（木）午前 4 時 31 分に当社渋川工場（群馬県渋川市）構内におきまして、火災事故が発生いたしました。

この事故により、当社従業員 1 名がお亡くなりになり、1 名が負傷いたしました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族に対し心よりのお詫びとお悔やみを申し上げます。

また、地域の皆様、株主の皆様、お取引先様、関係機関など多くの皆様に多大なご迷惑とご心配をお掛けし、深くお詫び申し上げます。

現時点で判明しております内容につきまして、以下の通りお知らせいたします。

（下線部が主な更新内容となります。）

記

1. 発生日時

2025 年 8 月 7 日（木）午前 4 時 31 分 （午前 8 時 45 分 鎮火確認）

2. 発生場所

関東電化工業株式会社 渋川工場 三フッ化窒素製造設備内 （群馬県渋川市渋川 1497）

3. 被害状況

- ・社員 1 名死亡、1 名軽傷
- ・三フッ化窒素製造設備 2 系列のうち、1 系列の一部に破損が発生

4. 原因と対策

本事故の発生を受け、当社は事故調査委員会を設置し、関係当局の協力および外部専門家の見解を踏まえ、調査を継続して参りました。これまでの調査の結果による、今回の事故原因と対策は以下の通りです。

三フッ化窒素の純度を製品レベルにまで精製した後、製品容器に充填するために圧力を高める工程において、高圧で保持されるべき貯槽内の三フッ化窒素が、規定されていない手動バルブの開閉操作により、貯槽に付随する配管内へ流入いたしました。その結果、低温・高圧の状態配管内に流入した三フッ化窒素ガスが温度上昇により膨張し、支燃性の強い三フッ化窒素の高速な流れがバルブ内に発生いたしました。これにより、バルブを形成する樹脂部材が燃焼し、この燃焼が起点となり、爆発的に配管の破損に至りました。
同様な状況が生じないよう、設備運用方法を見直すことを再発防止策といたします。

5. 操業状況

- ・三フッ化窒素以外の製品につきましては、安全確認が完了し、操業を再開しております。
- ・三フッ化窒素製造設備 2 系列のうち、損傷していない三フッ化窒素製造設備 1 系列につきましては、上記対策を実施後、再稼働を予定しております。また、被害を受けたもう 1 系列の三フッ化窒素製造設備につきましては、損傷範囲の特定を進めております。

業績に与える影響につきましては、重大な影響が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

以 上